

平成27年3月 浜田市議会定例会

平成27年度

当初予算説明資料



長浜西住宅（鳥瞰図）

青い海・緑の大地
人が輝き 文化のかおるまち

浜田市

平成27年度当初予算の編成概要及び編成方針

編 成 概 要

■国全体が「人口減少・超高齢化社会」を迎えるなか、本市においては、依然として厳しい経済情勢、雇用状況にある上、高齢化等の進展により社会保障関係経費が高い水準で推移しております。

■こうしたなか、平成27年度地方財政計画では、地方創生のための財源の上乗せもあり、地方の一般財源総額は平成26年度を上回る水準が確保されたものの、臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税総額は1.2兆円の減（△5.3%）となったところです。

■このような状況を踏まえ、平成27年度の当初予算の編成では、引き続き『集中と選択』をテーマとし、「中期財政計画」に沿って、行財政改革の着実な実行と計画的な予算編成に努めてまいりました。

■予算編成に当たっては、従来の方式を見直し、裁量経費において施策別予算配当（前年度比2～4%削減）を導入した上で、「元気な浜田」を実現するための政策的経費を元気な浜田事業として確保するなど、メリハリの効いた予算の実現に努めたところです。

■さらに、女性職員による定住プロジェクト「チームC o C o C a L a」の提案に基づく事業を盛り込み、女性の視点を反映した本市独自の人口減少対策にも取り組むこととしました。

■加えて、第6期介護保険計画に基づく負担や子ども子育て支援新制度に伴う事業など義務的経費の増、また、弥栄小学校体育館や旭小学校の建設、浜田浄苑の長寿命化改修といった大規模投資も重なっております。

■このような取り組みの結果、平成27年度の一般会計予算総額は395億1,620万円となり、前年度と比較して、金額で2億1,620万円の増、率にして0.6%の増となりました。これは、市町村合併後最大規模であります。

■今後の財政運営に当たっては、ここ数年は「元気な浜田」を創るために予算を集中投資する時期にあたりますが、平成27年度に検討予定の「新行財政改革大綱」の策定を受け、行財政のスリム化にもしっかりと努めるなど、持続可能な財政体質への転換を図ってまいります。

平成27年度 当初予算編成方針

基本的考え方

- 平成27年度予算編成については、現下の災害復旧及び厳しい経済状況に適切に対応し、将来に希望の持てる元気な浜田市を実現するため、中期財政計画、行財政改革実施計画に沿ったメリハリの効いた編成を行う。
- 施政方針との連動、重点施策実現のため、予算編成方式の見直しを行い、新たに経常事業において施策別予算配当を実施する。これにより、歳出の徹底した見直しを行うとともに、一般行政経費の重点化によって財源の捻出を図る。
- 地方全体での景気回復を背景に、国において地方交付税総額の縮減を図る動きがあるうえに、当市においては市町村合併による国の財政支援措置の最終年度にあたることを念頭に、「予算の集中と選択」を引き続きお願いする。
- 予算配当等の取りまとめについて、裁量経費は部単位で、自治区経費は支所単位で行うので、各部主管課は、当方針の趣旨を十分理解し、各課、本庁支所間等の調整にあたって、特段の努力をお願いする。

平成26年10月2日

財務部長

◆事業別要求区分及び要求の取扱い

区		分	要 求	備 考
経 常 事 業	1 裁量	2～4以外の経費	施策別予算 配当 別途通知による	☆「施策別予算配当」 予算科目の目ごとに予算枠を示し、施 政方針の実現に向け、施策別に必要な 予算配分を行うもの
	2 義務	人件費、公債費、負担 金、積立金、繰出金、 債務負担行為に係る 経費、国県負担金事業 等	所要額	対象事業は「予算要求区分別事業一 覧」を参考のこと
臨 時 事 業	3 政策	ソフト	総枠明示 分野指定	○総枠 280 百万円以内（市費：地方債＋ 一般財源）とする 元気な浜田枠 重点分野 ・産業振興、企業誘致などによる 雇用の場の確保 ・子育て支援、教育の充実 ・高齢者が安心して暮らせるま ちづくり その他 ・イベント、計画策定
		ハード	所要額	☆「主要政策枠」 「主要5事業」及び「政策調整枠」を 引き継ぎ、一体的なまちづくり、全市 的な喫緊の課題の解決に資するもの
	4 自治区	ソフト	所要額	○対象事業は、サマーレビュー査定に よること
		ハード	予算配当	○自治区ごとの予算配当は「投資的経 費予算配当」によること ○対象事業は、サマーレビュー査定に よること

◆予算要求に当たっての留意事項

- ① 当初予算要求書は、主管課を通じて必要書類とともに4部提出のこと
- ② 当初予算要求書は財務会計システムにより作成することとなるので、操作方法等の理解に努めること
- ③ 社会保障費や附属機関に要する経費等の同一の法令等に基づいて実施する事業については、必ず本庁担当課で取りまとめのうえ予算要求を行うこと
- ④ 上記以外の事業についても、同一の目的で同一の手法により実施する事業は、原則として本庁担当課で予算要求を行うこと
- ⑤ 平成27年度当初予算は、通年予算を編成する10年目となり、市全体で実施する経費については、十分調整・精査はされていると考えるが、再度、主管課及び本庁・支所の担当課において、共通ベースとなる部分の調整・精査を徹底したうえで要求すること（一体的なまちづくりに反しない範囲において、地域の個性、特色を活かすまちづくりのための共通ベース部分を上回る経費については、地域振興基金の活用等を検討すること）
- ⑥ 消費税増税を見込んだうえで予算要求を行うこと
- ⑦ 消費税増税の影響額については、主管課で取りまとめ、様式14表に記入のうえ提出すること
- ⑧ 裁量経費の施策別予算配当額については、別途通知するのでそれにより確認すること
- ⑨ 裁量経費の施策別予算配当額は、消費税増税分影響額を含む額であるので注意すること
- ⑩ 裁量経費において、施策別予算配当額を遵守し要求されたものについては、基本的に要求内容を尊重する（著しい後年度負担を要するもの等、財政的見地から問題があるものは除く）
- ⑪ 裁量経費の施策別予算配当額は、財政課査定により削減された場合でも、各部の配当額は担保する

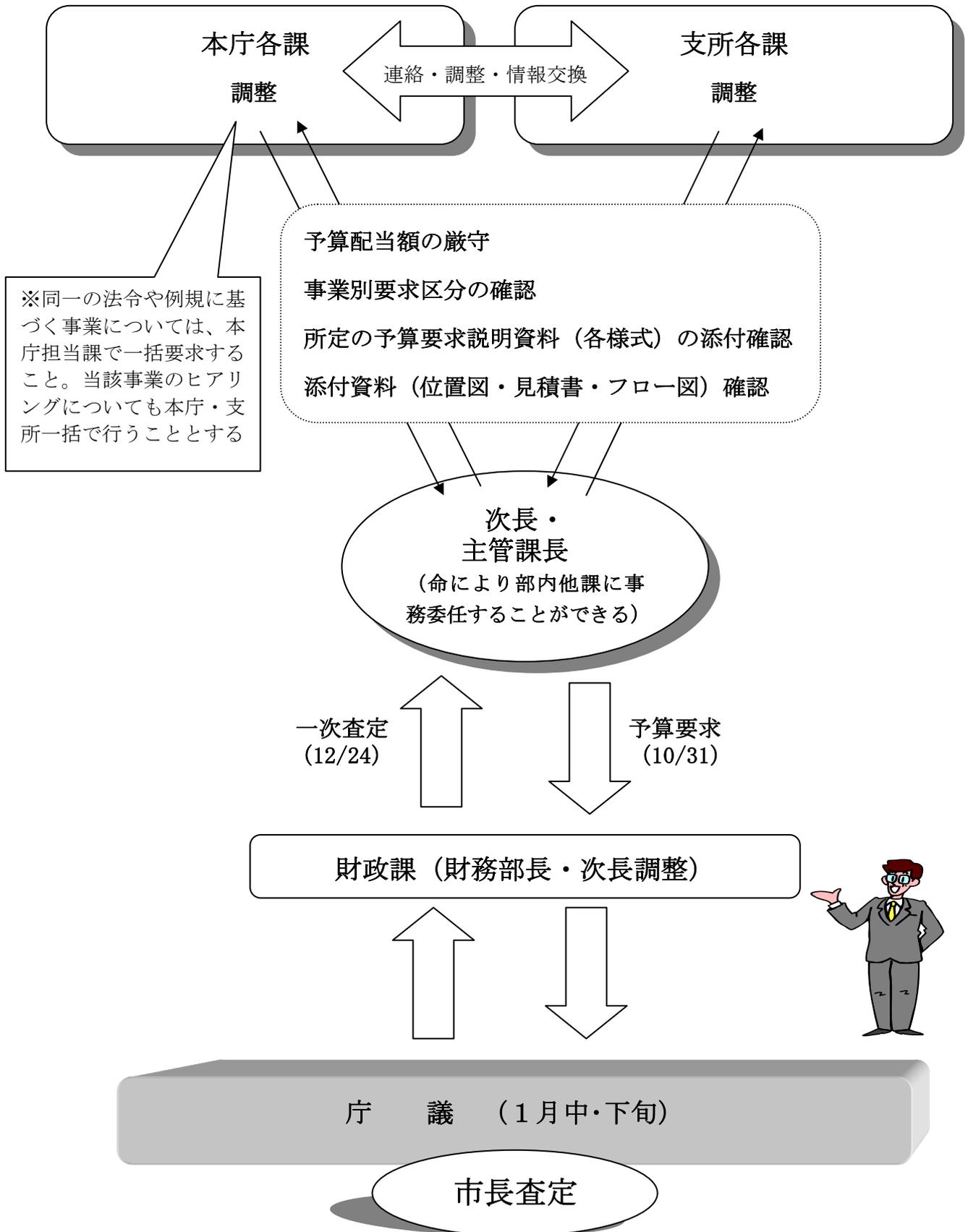
- ⑫ 裁量経費において、施策別予算配当額を踏まえたうえでの若干の配当額の施策間の調整は可能とする
- ⑬ 義務経費は、人件費の一部（職員給与費、議員報酬等、行政委員報酬等、退職手当）、返還金、公債費、国県負担金事業、負担金、積立金、繰出金、債務負担、リース契約、国県等補助事業で単価設定のあるものに限定しており、市独自事業や国県等補助事業で限度額設定のみのものは裁量経費とする
- ⑭ 政策経費（ソフト分）については、「元気な浜田枠」を中心に総額2億8千万円の範囲内で、以下の分野に重点的に予算配当する
- ・ 産業振興、企業誘致などによる雇用の場の確保
 - ・ 子育て支援、教育の充実
 - ・ 高齢者が安心して暮らせるまちづくり
- ⑮ 政策経費（ハード分）については、サマーレビューの査定結果に基づき、
予算要求を行うこと
- ⑯ 自治区経費（ソフト分）については、サマーレビューの査定結果に基づき、
予算要求を行うこと
- ⑰ 自治区経費（ハード分）の予算配当額については、別途通知するのでそれにより確認すること
- ⑱ 新規事業については、経費の性格を新要求区分に照らしたうえで区分を決定し要求すること
- ⑲ ⑱の決定に当たっては、財政課と十分に事前の調整を行うこと
- ⑳ 事業別要求区分については、サマーレビューで調整済であり、既存事業の予算要求段階での区分変更は認めない
- ㉑ 予算ヒアリングの日程は、各部署で調整しているが、ヒアリングは原則として「課」単位で行うため、部内のヒアリング順については主管課で調整のうえ、必ず主管課が同席すること
- ㉒ 上記③④の同一の事業について、予算ヒアリングを本庁・支所別々に実施することがあってはならないので、十分留意すること

- ②③ 財政サイドのヒアリング出席者は、財務部長、次長、係長、予算担当者を予定している
- ②④ 財務会計システムによる予算要求書に加えて、所定の予算要求付属資料（債務負担行為事業明細書、投資的経費説明資料、地域振興基金充当要求書等）がある場合は、必ず提出すること
- ②⑤ 予算要求付属資料「様式12 地域振興基金充当要求書」は、必ず自治振興課の確認を得たうえで、主管課より提出すること
- ②⑥ 嘱託・臨時職員の要求については、必ず本庁においては人事課、支所においては自治振興課と事前協議のうえ要求し、要求書においては積算基礎欄の数式機能を利用し算出根拠を明らかにすること（人数、月数等）
- ②⑦ 上記②④②⑤②⑥の他、ハード事業については位置図、平面図、見積書等、ソフト事業についてはフロー図等を添付し、ヒアリングの際にはそれを用いて分かりやすい説明に努めること
- ②⑧ 事業予算の分離、統合が必要な場合は、当該事業を担当する本庁・支所間で十分なすり合わせを行い、主管課を通じて予算の整合を図ること
- ②⑨ 監査委員による指摘を十分踏まえたうえで要求を行うこと
- ②⑩ 事業予算は目的別に編成するものであり、事業の一部を他部課で実施する場合においても当該事業内で予算化し、他部課へは予算の配当替により対応すること

◆予算編成日程（予定）

- 10月 2日（木） 予算編成方針説明会
（10時00分～：本庁講堂ABC）
- 10月31日（金） 要求書提出期限（4部提出）
15：00まで（締切厳守）
- 11月 4日（火）～ 財政ヒアリング(査定)・・・ヒアリング日程表参照
- 12月24日（水） 一次査定内示（予定）
- 12月25日（木） 復活要求書（様式10）提出期限（締切厳守）
- 1月 9日（金） 市長ヒアリング要求書（様式9）提出期限
15：00まで（締切厳守）
- 1月 中・下旬 庁議ヒアリング・市長査定(当初予算決定)

◆予算要求・決定の流れ



予算要求と査定結果

(単位:百万円)

平成27年度当初予算		議会	総務部	地域政策部	財務部	健康福祉部	市民生活部	産業経済部	都市建設部	消防本部	教育委員会	上下水道部	合計
		事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費
裁量	要求	25	631	292	140	1,119	659	852	579	140	1,219	0	5,654
	査定	25	630	283	140	1,118	659	782	566	140	1,217	0	5,559
	差引	0	△ 1	△ 9	0	△ 1	0	△ 70	△ 13	0	△ 2	0	△ 95
(参考) 55億円財源計画反映額							0	0	△ 1		△ 9		△ 10
義務	要求	184	5,793	146	6,766	7,383	2,920	538	101	59	450	1,349	25,689
	査定	184	5,793	146	7,007	7,378	2,908	533	101	59	428	1,315	25,851
	差引	0	0	0	241	△ 5	△ 12	△ 5	0	0	△ 22	△ 34	162
政策ソフト	要求	0	51	44	0	139	0	224	64	3	46	0	572
	査定	0	40	40	0	136	0	175	64	3	43	0	501
	差引	0	△ 11	△ 4	0	△ 3	0	△ 49	0	0	△ 3	0	△ 71
政策ハード	要求	0	34	40	0	0	455	627	791	115	1,446	43	3,549
	査定	0	34	0	0	0	455	627	436	114	1,435	43	3,143
	差引	0	0	△ 40	0	0	0	0	△ 355	△ 1	△ 11	0	△ 406
自治区ソフト	要求	0	0	230	0	3	0	96	0	0	4	0	333
	査定	0	0	230	0	3	0	96	0	0	4	0	333
	差引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自治区ハード	要求	0	235	49	31	194	0	1,034	2,153	105	727	0	4,529
	査定	0	186	40	31	180	0	745	2,127	97	722	0	4,129
	差引	0	△ 49	△ 9	0	△ 14	0	△ 289	△ 26	△ 8	△ 5	0	△ 400
合計	要求	209	6,744	800	6,937	8,838	4,034	3,371	3,688	421	3,892	1,391	40,325
	査定	209	6,682	739	7,178	8,816	4,022	2,958	3,294	412	3,849	1,357	39,516
	差引	0	△ 62	△ 61	241	△ 22	△ 12	△ 413	△ 394	△ 9	△ 43	△ 34	△ 809

※上記の金額は、四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

○主要施策の予算要求と査定状況

(単位:千円)

番号 部局名	事業名 予算要求の概要	要求 事業費	査定 事業費	査定概要
1 各支所自治振 興課・旭支所 市民福祉課・ 弥栄支所市民 福祉課・弥栄 支所産業課・ 弥栄支所建設 課	<p>定住対策基金事業</p> <p>【事業概要】 地域振興基金を活用した、各自治区独自の定住施策</p> <p>【主な要求内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○金城自治区 地域提案型チャレンジ事業補助金 26,400千円 ○旭自治区 地域内施設活用事業補助金 1,200千円 地域を元気にするための活動支援補助金 3,500千円 集落機能再編・強化事業補助金 2,630千円 遠距離通所補助金 350千円 いきいき長生き定住検診助成金 518千円 定住促進住宅建築費補助金 7,000千円 地域担当制度事業 480千円 地域事務支援員設置事業 2,085千円 ○弥栄自治区 住みよい集落づくり事業 36,410千円 定住サポート推進員設置事業 4,202千円 やさかツアーリズム定着支援事業 3,572千円 定住促進住宅建築費等補助金 10,000千円 いきいき長生き定住検診事業 392千円 遠距離通学補助金 4,800千円 宅配サービス事業 337千円 U・Iターン促進事業 438千円 除雪車オペレーター育成事業 182千円 ○三隅自治区 地域担当制事業 390千円 定住サポートみずすみ委託料 600千円 コミュニティ整備事業推進補助金 23,383千円 U・Iターンのための産業体験事業補助金 2,880千円 定住促進住宅建築費等補助金 12,000千円 集会所整備事業補助金 82,034千円 定住促進住宅建築費等補助金積立金 4,000千円 岡見住宅団地新聞折込チラシ 522千円 <p>【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 230,305</p>	230,305	230,305	<p>要求どおり</p> <p>平成23年度に創設した事業で、地域振興基金を活用した自治区ソフト事業の中核をなすもの。地域コミュニティ支援を中心に各自治区で様々な取り組みを行ってきたが、平成27年度をもって一応の区切りとする旨、方針決定済み。事業最終年度にあたり、予算要求どおりとする。</p>
2 財政課	<p>ふるさと寄附促進事業</p> <p>【事業概要】 ふるさと寄附金の促進に係る事業費及び各基金への積立金</p> <p>【主な要求内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○嘱託職員等雇用 6,364千円 ○ふるさと寄附特産品代 112,500千円 ○事務費 17,735千円 ○基金積立金 113,401千円 <p>【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 250,000</p>	250,000	500,000	<p>予算増額</p> <p>ふるさと寄附は、10月の予算要求時点では3億円程度であったが、12月時点で6億円を突破。また、政府においては、寄付金控除の拡大等を決定しており更なる増加が見込まれる状況。一方で、実施自治体の増加による競争の激化や税制上の制約等も踏まえ、寄附金の伸びは不透明な情勢。これらを背景に、平成27年度のふるさと寄附については、平成26年度12月補正予算時点と同程度と見込み、予算を増額する。</p>

○主要施策の予算要求と査定状況

(単位:千円)

番号 部局名	事業名 予算要求の概要	要求 事業費	査定 事業費	査定概要
3 金城支所自治 振興課・金城 支所産業課	美又地域振興事業 【事業概要】 美又地域の再生・活性化を図るために、美又温泉の「入込客12万人、総売上5億円」の達成に向けた具体的な行動計画づくりと、その着実な取り組みを支援する 【主な要求内容】 ○美又温泉の活性化に向けた外部への業務委託 9,200千円 ○美又地区重点支援事業補助金 3,000千円 ○検討委員会等事務費 800千円 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 0	13,000	7,800	事業費精査 美又温泉を核とした美又地域の振興については平成26年度から外部への業務委託を中心に取り組んでいるところ。業務委託に関する予算要求はモデル旅館による具体的な取り組みを総合的に支援するものであったが、「おもてなし向上」を中心とした誘客対策に絞り込むことに変更し、予算を400万円に減額。
4 地域プロジェクト 推進室	瀬戸ヶ島埋立地活用事業 【事業概要】 瀬戸ヶ島埋立地を地域振興及び観光振興の拠点として整備する 【主な要求内容】 ○泉源調査委託料 20,000千円 ○基本設計委託料 10,000千円 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 0	30,000	0	予算化先送り 瀬戸ヶ島埋立地の活用については、元気な浜田創出に向けての中核となる施策であるが、その基本方針は、時間をかけ、更に議論を深めて作成する必要がある。したがって、当初予算への計上は見送り、改めて予算化。
5 安全安心推進 課	防災行政無線屋外拡声子局増設事業 【事業概要】 災害時において、より多くの住民に情報伝達を行うため、土砂災害の危険が高い浜田自治区の山間部を中心に屋外拡声子局の増設を行う 【主な要求内容】 ○電波伝搬調査・設計業務委託料 ○機器製造・施工 21局 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 105,500 その他: 0	112,922	63,322	事業費精査 情報伝達が十分でないといわれる浜田自治区に防災行政無線を増設するものであるが、昨今の防災に関する関心の高さから機器の需要が高く製造に時間がかかる状況。予算の効率的配分の観点からも2ヶ年で整備することとし、平成27年度は要望の多い中山間地を優先に10局を整備。
6 安全安心推進 課	災害時連絡体制確保事業 【事業概要】 災害時において、固定電話等が不通となった場合の本庁・支所・消防本部等の連絡体制の確保や現場職員との情報共有を図る 【主な要求内容】 ○モバイルデータ通信機 50台 2,268千円 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 0	2,268	990	事業費精査 通常の携帯電話回線とは別回線のモバイルデータ通信機については、災害時に通信制限や混信の恐れがなく、連絡体制確保に有効と判断。ただし、機器性能の向上も期待し、平成27年度は20台にとどめ、段階的に配備するよう調整。
7 子育て支援課	私立保育所施設整備補助事業 【事業概要】 認可保育所整備に対し「社会福祉法人の助成に関する条例」等に基づく助成を行う 【主な要求内容】 ○私立保育所施設整備補助金 77,383千円 大規模修繕 : 1園 (聖バルナバ保育園) 改築 (定員増) : 1園 (うみかぜ保育園) 補助率: 県1/2、市1/4 (定員増を伴うもの 県2/3、市1/6) 【特定財源】 国県支出金: 61,087 地方債: 15,400 その他: 0	77,383	77,383	要求どおり 待機児童ゼロに向けた保育所の充実が子育て支援の重点施策。私立保育所施設整備補助金により既存の2施設について、条例に基づく施設整備への支援を行うことを確認。

○主要施策の予算要求と査定状況

(単位:千円)

番号 部局名	事業名 予算要求の概要	要求 事業費	査定 事業費	査定概要
8 子育て支援課	私立幼稚園保育事業 【事業概要】 子ども・子育て支援新制度施行に伴い、同制度の適用を受ける教育・保育施設に対し、従来の就園奨励費等に代わるものとして「施設型給付費」を支給する 【主な要求内容】 ○私立幼稚園施設型給付費 49,078千円 浜田自治区：夕日ヶ丘聖母幼稚園 ○認定こども園（幼児部）施設型給付費 46,143千円 浜田自治区：日脚保育園 旭自治区：あさひ子ども園 【特定財源】 国県支出金：67,184 地方債：0 その他：0	99,123	99,123	要求どおり 子ども・子育て支援新制度により、私立幼稚園及び認定こども園（幼児部）の運営費を、従来の私立保育所と同様に浜田市が給付することとなったことを確認。なお、保育料も浜田市が決定することとなり、これについても私立保育所同様、国基準の6割程度に設定。
9 地域医療対策課	浜田で学ぶ学生の健康応援事業 【事業概要】 浜田で学ぶ学生が自分の健康状態を知り、生活改善に繋げることができるよう学校と連携しながら各種健康診査等を実施することで、学生が社会の一員として活躍できるような心身の基盤づくりを支援する 【主な要求内容】 ○学生健診委託料 1,070千円 委託先：（公財）島根県環境保健公社 【特定財源】 国県支出金：0 地方債：0 その他：0	1,161	0	予算化見送り 事業実施に係る人件費も含めた費用対効果に疑問。浜田で学ぶ学生の支援については、パスカードの配布等の新規施策に重点化する。 浜田で学ぶ学生支援事業(事業費:5,787千円)
10 医療保険課	児童医療費助成事業 【事業概要】 乳幼児医療費助成事業の対象年齢を市独自に拡大し、子育て世帯の更なる負担軽減を図る ※H27から助成対象を中学校3年生まで拡大 【主な要求内容】 ○医療費助成額 52,247千円 ○審査支払手数料 2,755千円 ○助成対象：小学校1年生から中学校3年生までの児童及び生徒（約4,150人） ○助成内容：医療費負担割合 3割 ○自己負担限度額 入院：2,000円/月 通院：1,000円/月 【特定財源】 国県支出金：0 地方債：54,300 その他：962	55,290	55,290	要求どおり 医療費助成の対象を中学生まで拡大することについては既定方針。拡大により増額となる予算が15,092千円であることを確認。
11 環境課	浜田浄苑環境整備事業 【事業概要】 所在地：治和町 し尿処理施設の改修に係る経費 【主な要求内容】 ○設備機器整備・焼却炉補修等工事 ○長寿命化改修工事（H27～H28） 【特定財源】 国県支出金：48,035 地方債：304,700 その他：0	355,643	355,643	要求どおり 浜田浄苑については今後とも必要となる施設であることから、中期財政計画において施設の長寿命化を図る予算を盛り込んでいる(平成27～28年度:9億4千万円)。事業内容を確認し予算化。

○主要施策の予算要求と査定状況

(単位:千円)

番号 部局名	事業名 予算要求の概要	要求 事業費	査定 事業費	査定概要
12 農林振興課	<p>「元気な浜田」農産物振興プロジェクト事業</p> <p>【事業概要】 農業産出額1億円以上の浜田市の顔となる農作物を振興することで、農家所得の確保と農業意欲の高揚を図り、地域農業の持続的発展を目指す ○期間：H26～H30</p> <p>【主な要求内容】 ○専門機関研究委託 500千円 ○振興作物耕作施設整備補助 54,450千円</p> <p>【特定財源】 国県支出金：0 地方債：0 その他：0</p>	58,081	20,683	<p>事業費精査</p> <p>予算要求は、浜田市の顔となる重点果樹(ピーオーネ、西条柿、赤梨)の普及振興、農家所得500万円を目指す振興作物の普及、人・農地プランの推進の3点に係るもの。これを1億円産出に向けた重点果樹に絞り込むなど予算の重点化を図ることで調整。</p>
13 農林振興課	<p>拠点農業団地基盤整備推進事業</p> <p>【事業概要】 所在地：金城町今福 優良農地の確保が難しい中山間地域において、拠点となる農業団地を整備することにより、農業振興を推進する(元谷団地)</p> <p>【主な要求内容】 ○土地建物購入 56,119千円 ○既存建築物撤去(工事)</p> <p>【特定財源】 国県支出金：0 地方債：203,300 その他：0</p>	214,067	214,067	<p>要求どおり</p> <p>元谷団地については、新開団地と同様な手法で農地の造成を行うことで方針を決定済み(中期財政計画 平成27～31年度 4億8500万円)。平成27年度は用地購入及び支障建物撤去費の事業費を確認。</p>
14 水産振興課	<p>Sea-1グルメフェスティバル開催事業</p> <p>【事業概要】 浜田市合併10周年を記念し、「BB大鍋フェスティバル」の開催と併せて色々な水産物を使った料理を試食できるイベントを開催し、水産物への関心を高め、魚食普及を図る</p> <p>【主な要求内容】 ○Sea-1グルメフェスティバル実行委員会補助金 3,000千円</p> <p>【特定財源】 国県支出金：0 地方債：0 その他：0</p>	3,000	3,000	<p>要求どおり</p> <p>魚食普及と浜田漁港水産物の振興を図る意味で市政施行10周年記念事業と位置付けることを確認。事業規模及び内容が平成23年に実施したB級グルメフェスティバルと同規模であることを要件とする。</p>
15 水産振興課 (漁業活性化室)	<p>活気あふれる浜田漁港創出事業</p> <p>【事業概要】 10年後の水揚高100億円達成に向け、コンサルタント委託や先進地視察などの調査研究を行い、今後の事業展開及び整備計画等の検討材料とする</p> <p>【主な要求内容】 ○高度衛生管理型荷捌所整備コンサルタント委託料 ○先進地視察 高度衛生管理型荷捌所、一次加工処理施設等 ○燃油消費量モニタシステム導入補助金 2,000千円</p> <p>【特定財源】 国県支出金：0 地方債：0 その他：0</p>	8,181	8,181	<p>要求どおり</p> <p>10年後の水揚げ100億円達成に向けては、浜田漁港の高度衛生管理型荷捌所整備が不可欠。これに必要な基本構想の委託費及び旅費等事務費を予算化。また、リシップ事業に併せて実施する沖合底曳網漁船の燃油消費量モニタシステム導入への支援も必要と判断。</p>
16 産業政策課	<p>中小企業振興預託金</p> <p>【事業概要】 中小企業振興融資制度への預託金</p> <p>【主な要求内容】 ○島根県小規模企業育成資金 80,693千円 ○浜田市中小企業特別融資資金 40,000千円 ○浜田市中小企業協同組合合理化対策融資資金 20,000千円</p> <p>【特定財源】 国県支出金：0 地方債：0 その他：140,693</p>	140,693	75,693	<p>事業費精査</p> <p>近年融資実績が低いことから預託金額を以下のとおり調整。 ○島根県小規模企業育成資金 45,693千円 ○浜田市中小企業特別融資資金 20,000千円 ○浜田市中小企業協同組合合理化対策融資資金 10,000千円</p>

○主要施策の予算要求と査定状況

(単位:千円)

番号 部局名	事業名 予算要求の概要	要求 事業費	査定 事業費	査定概要
17 産業政策課	食による賑わい創出事業 【事業概要】 道の駅「ゆうひパーク」を、地元食材を使用した料理等を提供する食による賑わいの拠点とし、そこに「地域おこし協力隊」制度を活用して意欲的な女性スタッフを配置し、女性の感性を活かした事業展開を行うことで女性や若者をターゲットとした新たな賑わいを創出する 【主な要求内容】 ○地域おこし協力隊報奨金 2,400千円 ○人材育成委託費 1,874千円 ○はまだ食の大使による地元産品消費拡大セミナー 1,611千円 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 0	5,885	5,885	要求どおり 女性職員による定住プロジェクトチーム「チームCoCoCaLa」の提案に基づく予算。女性スタッフに高い能力を求めることから、優秀な人材の確保と育成が必要となるが、女性による第3者評価も高いことから、トライアルと位置づけ予算化。 なお、はまだ食の大使による地元産品消費拡大セミナーを通じた地域振興については継続分として予算化。
18 観光交流課	「ようこそ！浜田」事業 【事業概要】 観光モデルコースのモニターツアー、おもてなし研修の開催、邑南町との「食」を通じた連携強化など、さらなる地域の魅力発信と観光事業の充実を図る ○期間: H26～H28 【主な要求内容】 ○観光モデルコースモニターツアー ○案内板・説明板設置 ○おもてなし研修開催 ○邑南町との「食」を通じた観光・文化交流事業 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 0	18,029	10,164	事業費精査 元気な浜田創出に向けた観光部門施策として2年目を迎えるが、1年目の実績を踏まえ事業の効率化重点化を図る。 ○観光モデルコースモニター～ツアーから検証へ ○観光案内板の整備～整備個所の絞り込み ○ガイドマップ、ポスター等～紙媒体の効果は限定的であり縮減
19 観光交流課	広浜鉄道今福線観光資源活用事業 【事業概要】 (公社)土木学会選奨土木遺産にも認定された構造物を含む広浜鉄道今福線を浜田の貴重な観光資源と捉え、観光コースへ組み込むための安全・案内対策工事を行うとともに、シンポジウムを開催して存在と価値を広くPRする 【主な要求内容】 ○安全・案内対策工事一式 ○シンポジウム開催補助金 1,366千円 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 0	12,141	10,268	事業費精査 シンポジウム開催については「元気な浜田をつくるためのロードマップ」において方針決定済み。開催に要する経費は140万円程度であるものの、安全対策工事や案内看板等が多額のため、工法を見直し減額。
20 建設整備課	城山公園整備事業 【事業概要】 平成31年度に実施予定の「浜田開府400年記念事業」に併せ、浜田城周辺の城山公園の整備を行う 【事業期間】 H27～H30 【主な要求内容】 ○進入路測量設計業務委託 一式 ○文化財発掘調査 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 15,000 その他: 0	25,000	0	予算化先送り 浜田城周辺整備事業については、元気な浜田創出に向けての中核となる施策であるが、その基本方針は、時間をかけ、更に議論を深めて作成する必要がある。したがって、関連する城山公園整備事業は、当初予算への計上は見送り、改めて予算化。

